



ギョウ太

南区で化石が発見された「サッポロカイギョウ」の子孫。世話好き。



23年度予算を紹介



私たちの暮らしはどう変わる？

私たちの暮らしと密接な関わりを持っている市の予算が、このたびまとまりました。今回の特集では、札幌に暮らすユイの家族とギョウ太とのやりとりを通して、23年度の予算を分かりやすく紹介。私たちの暮らしが、どう変わるのかを見ていきます。



ユイ

母

父

姉

ユイの家族

ユイはしっかり者の大学生。市内で飲食店を営む両親と暮らす。

この特集に関するお問い合わせは 財政課 ☎211-2212

予算って何？

予算の歳出を見れば、私たちの暮らしのために、市が何に取り組むかが分かるのね



ユイの家族の暮らし

予算

市の1年間の「収入」と「支出」の計画

歳入(収入)

- ・市税
- ・国から配分されたお金
- ・市債(借金)
- ・手数料

など

歳出(支出)

- ・福祉のための支給
- ・道路や公園の整備
- ・市債の返済
- ・国民健康保険や地下鉄のための経費



予算とは、この1年間で、市にどれくらい収入が見込めて、何にいくら使うかを計画したものだよ

市には3種類のお財布(会計)があります

一般会計

福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業の会計

特別会計

国民健康保険、介護保険など、一般会計と区別する必要がある事業の会計

企業会計

地下鉄、水道など、民間企業のように利用料金などの収益で運営する会計

その通り。それじゃ、次からは、市の基本的な会計である「一般会計」の予算について、詳しく見ていこう



ユイの家族の暮らし

ええと、たしか...



予算は、3つあるお財布ごと立っているのよね

23年度 一般会計予算は 8,464億円

前年度比 **+235億円**



23年度予算のポイント

- 3年連続で前年度予算を上回る規模
- 市議会議員と市長の選挙が控えているため、**継続的な事務や事業に関する経費を中心に編成**（骨格予算）

※政策的な判断が必要な事業についての予算は、4月10日（日）の統一地方選挙の後、あらためて編成されます

市税 **+37億円**

個人市民税が減少する一方、法人市民税が増加し+1.4%

国庫支出金 **+251億円**

生活保護や子ども手当、障害者自立支援などの経費の増加により+16.2%

歳入

市税
2,754億円

地方交付税
969億円

国庫支出金
1,792億円

市債
763億円

諸収入など
1,230億円

総額
8,464
億円

地方譲与税・地方特例交付金・道交付金など 365億円

分担金・負担金・使用料・手数料 234億円

道支出金
305億円

繰入金
52億円

保健福祉費 **+266億円**

生活保護や子ども手当などの増加により+9.7%

経済費 **+16億円**

中小企業への融資制度の新設などにより+1.7%

土木費 **+30億円**

市営住宅の建設費や市有施設の改修費の増加により+4.0%

その他
112億円

歳出

保健福祉費
3,003億円

経済費
982億円

土木費
775億円

公債費
960億円

諸支出金
905億円

職員費
950億円

総額
8,464
億円

環境費 156億円

教育費 341億円

環境費 **-23億円**

ごみ収集費の減少や篠路清掃工場の廃止により -12.8%

公債費 **-49億円**

市債の元金や利子の減少により-4.9%

職員費 **-37億円**

手当の改定や退職者の減少などにより-3.8%

23年度予算の 重点分野はこちら

子ども
子育て

高齢者
障がい者

地域経済
雇用

札幌の
魅力向上



次のページからは、
具体的な取り組みを
見ていこう！

でも、歳入は限られているから、やりくりはとても厳しいんだ。節約できるところは節約して、市民の暮らしや札幌の経済を支える取り組みに力を入れていくよ



生活保護や子ども手当などの福祉に掛かる費用がずいぶん増えているのね

子ども・子育て

この子がもう少し大きくなったら、保育所に預けて働きたいと思ってるの。でも、希望者が多くてなかなか預けられないって聞くんだけど…



出産後も働きたいというお母さんは、年々増えているよね

保育所の定員を増やしたり、子どもたちとさまざまな学びの場を提供したりして、子育ての支援を充実させていくよ



4月から 放課後の居場所づくりを拡充します

34億6,200万円



留守家庭の子どもを、児童会館などで受け入れる「放課後児童クラブ」の対象を、小学4年生までに拡大します。また、小学校の教室を活用したミニ児童会館を4カ所整備します。

この子が小学生になっても安心ね



4月から 幼稚園と小中学校の特別支援教育を強化

3億2,000万円

発達障がいなどの、特別な支援が必要な子どもの教育を支えるため、私立幼稚園への補助を拡大します。また、支援員を配置する小中学校を増やします。

4月から 美術館での体験学習の機会を広げます

1,200万円

小学5年生が芸術の森で芸術作品を鑑賞したり、粘土作品を制作したりする体験授業を増やします。



高齢者・障がい者

最近、階段の上り下りがしんどいのよね。私も年かしら…。これから高齢者がどんどん増えていくから、安心して暮らせるまちにしてほしいわ



高齢者や障がいのある方はもちろん、誰もが安心して快適に暮らせるまちになるよう、努力していくよ



歩道のバリアフリー化を進めます

16億5,000万円

地下鉄駅周辺の歩道を中心に、勾配の緩和や段差の解消、視覚障がいのある方を誘導するブロックの設置などを進めます。



6月～7月

全地下鉄駅へエレベーターの設置が完了

3億2,200万円

南北線中の島駅と東西線東札幌駅のエレベーターが完成し、49カ所全ての地下鉄駅にエレベーターが整備されます。



4月から

消費者被害を防止する取り組みを拡大

500万円

高齢者を対象に、地域の機関と消費者センターが連携して行っている悪質な消費者被害を防ぐ取り組みを、障がい者にも拡大します。
※本年度は中央・東・白石区での試行実施

地域経済・雇用

中小企業に対する新しい融資制度をつくるほか、失業者や若者の就職を支援するなど、札幌の経済を支える取り組みにさらに力を入れていくよ



うちの店、だいぶ古くなってきたから、改装を考えているんだよ。低い金利で資金を借りられないかなあ

4月
から

「札幌みらい資金」を設けます

新規融資枠100億円

中小企業を支援するこれまでの融資制度に加え、今後の札幌経済を担うと期待される「食」「観光」「環境」「健康・福祉」の分野を対象とした、新たな融資制度を設けます。

中小企業
融資枠の総額は
2,326億円



食や観光などの産業を
もっと伸ばしていくんだね

24年
春までに

保育所の
定員を1,300人
増やします

28億4,200万円



私立保育所に対して建築費などを補助し、11カ所の保育所を新設するほか、既存の保育所の増改築や分園整備を進めます。

保育所や特別養護老人ホームなど、市民のニーズに合う施設を増やして、雇用を増やすことにもつなげるよ

4月
から

雇用の創出や若者の就職支援を行います

24億1,200万円



求職中の方に短期就業の場をつくるほか、高校や大学などの新卒未就職者を対象に、就業に必要な知識などを習得するための研修を実施し、1,160人の雇用を生み出します。このほか、保育所と特別養護老人ホームの増設により、440人の雇用につなげます。



24年
春までに

特別養護老人
ホームの定員を
218人増やします

6億200万円



施設を設置する事業者を支援し、新たに4カ所の特別養護老人ホームを開設します。介護を必要とし、自宅での生活が困難な高齢者が、早期に入所できる環境づくりを進めます。

建設業などの中小企業の受注機会を確保します

全ての
建設費の総額は
705億円

企業の誘致を
推進します

3億600万円

小中学校や市営住宅などの市有施設の改修・建設を計画的に行い、市内の中小企業が工事を受注できる機会をつくります。

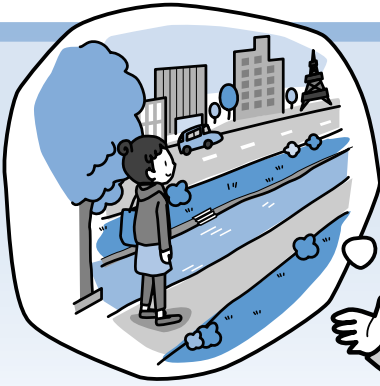


24年7月に完成予定の→北白石小・中学校

開設経費や新規雇用者への人件費の一部を補助し、コールセンターやIT・バイオ産業など11社の誘致を目指します。

札幌の魅力向上

この春は、駅前通の地下歩行空間と創成川公園ができて、都心に行くのが楽しみなったわ



そうだね。札幌をもっと魅力的なまちにするために、札幌らしい自然や文化を生かしたまちづくりを進めていくよ

24年夏完成 通年で利用できるカーリング場を新設

14億6,400万円



公設としては全国初の通年型のカーリング場を新設します。5つのレーンを備え国際大会にも対応できるほか、地下鉄月寒中央駅から徒歩で、気軽に競技を楽しめるようになります。

←月寒体育館の隣接地に新設します

24年12月完成 円山動物園にアジアゾーンの整備を開始

5億7,900万円



ユキヒョウ、レッサーパンダなどのアジアに生息する動物を展示する施設を整備します。施設は、動物の生態や生息環境がよく分かる工夫をするほか、木質ペレットボイラーや雪冷房設備などを導入し、環境面にも配慮します。

12月完成 藻岩山の展望台などがリニューアル

4億3,100万円

山頂展望台やロープウェイが新しくなり、中腹駅と展望台を結ぶミニケーブルカーなどを新設します。全ての施設がバリアフリーで、車いすの方も快適に山頂を訪れることができます。



24年春までに 都心の魅力をより高めます

13億8,000万円

駅前通（北1条～北4条）の道路や街路樹、LED街路灯の整備を行います。また、地下鉄大通駅とバスセンター前駅間の地下通路に「500m美術館」を常設します。



駅前通の地下歩行空間のイベントも楽しみだね



市はこうした取り組みを進めているけれど、住みよい、魅力あふれるまちをつくるには、市だけでなく、市民一人一人の力が必要なんだ。みんなで力を合わせて、もっと素敵なまちにしていこうね！



子育てや高齢化など暮らしの中の大切なことに、市がしっかりと取り組んでいくことも分かったわ



予算って聞くと、難しそうだけど、こうして見ていくと、私たちにどうして身近なことがばかだね